

【概要】「日本磁器産業発祥の地・ARITA 文化資源の記録化・ストーリー化事業」（佐賀県・有田町連携事業）

現状・課題

- ✓ 有田には、世界に誇る「文化資源」が点在しているが、それらが有機的に結びついていない
- ✓ 観光客にとって「どこをどう巡ればいいのか」が分かりづらい

事業概要

有田を中心とした県内の陶磁器産地（唐津・伊万里・武雄・嬉野）の文化資源を、画像・テキスト等の素材で体系的にアーカイブ化し、ストーリーでつなぐことで、まち全体をいわば「生きたミュージアム」として体験・周遊できるような基盤を構築するもの

〔用途の想定〕 来訪者向け周遊Webアプリ、HP・SNS、Google MAP、ガイド人材育成研修素材、九州陶磁文化館のデジタルサイネージ連動等

実施内容

- ✓ アーカイブデータの作成（①写真・解説文、②映像制作）
対象エリア：有田を中心に唐津、伊万里、武雄、嬉野まで含む
作成件数：①150～200件程度、②10～20件程度
- ✓ デジタル閲覧基盤の設計・構築
・来訪者向け周遊Webアプリケーションの構築（実証実験レベル）
※別事業予算により、年度内に『本格運用レベル』まで拡張予定

スケジュール概要

【公募開始】 令和8年6月18日（木）～ ※6/25説明会

【質問×切】 令和8年6月29日（月）17時まで

【参加表明】 令和8年7月2日（木）17時まで

【提案書×切】 令和8年7月10日（金）17時まで

※参加申込多数の場合は、事前審査（書類選考）を実施予定

プレゼンテーション参加数（目安）：4者程度

【プレゼンテーション】 令和8年7月15日（水）14時～（予定）

【最優秀提案者の決定】 令和8年7月下旬

【仕様書協議・契約締結】 文化庁の交付決定後、速やかに

【佐賀県・有田町連携事業について】

予算：23,456千円（内訳 県：18,944千円、有田町：4,512千円）

- ✓ 本事業は佐賀県と有田町による共同事業
- ✓ 事業者の選定は佐賀県が実施
- ✓ 採択後に、佐賀県、有田町、最優秀提案者の3者で協議を行い、現在の仕様書の業務内容を佐賀県分と有田町分に分けて作成
- ✓ 選定された事業者は、佐賀県、有田町それぞれと個別に随意契約

提案書の内容

令和8年7月10日(金) 17時までに提出(正本1部・副本7部)
A4縦長左綴じ(A3折込可)で概ね20ページ以内・文字サイズは10ポイント以上

(1)事業目的の理解・基本方針

本事業の目的・背景をどのように理解しているかを示すとともに、文化資源の魅力や価値の発信、地域内の回遊性向上にどのようにつなげるかについて、基本的な考え方を具体的に示すこと。

また、デジタル閲覧基盤における利用者データの取得・分析及びその活用により、アーカイブ内容や体験の継続的な改善(PDCA)をどのように実現するかについての基本的な考え方を示すこと。

(2)アーカイブの構成・活用方法について

収集・整理するアーカイブデータの項目、分類方法、構成、保存形式及び管理方法について具体的に提案すること。

また、継続的な追加・更新、多用途での活用を見据えた運用方法について示すこと。

(3)映像コンテンツの企画・制作について

選定する文化資源や、その訴求ポイントを明確に示した上で、映像コンテンツの構成、演出方針等について具体的に提案すること。

また、継続的かつ多用途での活用可能性についても示すこと。

(4)Webアプリケーション等の体験設計について

利用者が地域内を巡りたくなる導線設計や体験価値向上に向けた工夫、独自性について具体的に提案すること。

また、旅マエ・旅ナカ・旅アトを通じて、文化資源への興味・理解を深める仕組みや補助コンテンツについて示すこと。

(5)運用・保守体制について

Webアプリケーション公開後の運用方法、更新体制、保守対応、及び次年度以降の想定費用等について具体的に示すこと。

また、専門的知識を過度に要さず、継続的な運用が可能な仕組みとなるよう、運用負担やランニングコスト抑制に向けた考え方について提案すること。

(6)実施体制及び業務スケジュールについて

本業務の実施体制(人員配置、役割分担、実績等)について明確に示すこと。

また、業務全体のスケジュール及び進行管理方法について、図表等を用いて分かりやすく示すこと。

プレゼンテーション

令和8年7月15日(水)14時～(予定) ※参加者多数の場合は事前審査実施

- (1) プレゼンテーションは提案内容に対する確認や補足説明を主な目的として実施するもの。
- (2) 参加者側の出席者は3人以内(うち1人は業務を中心的に担当する者が望ましい。)とし、プレゼンテーションの時間は1者あたり30分程度(説明15分、質疑15分程度)を予定している。
- (3) Webでの参加も可とする。
その場合はプレゼンテーションの前日の正午までに佐賀県観光課(0952-25-7386)まで連絡すること。

最優秀提案者の選定

- (1) 提出された提案書等を審査し、最も優れている参加者を最優秀提案者として選定し、契約締結に向けた手続を行う。
- (2) 最優秀提案者となることができる最低基準点をあらかじめ定めるものとし、それ以上の点数を得た参加者の中から最優秀提案者を選定する。
- (3) 評価点の最も高い者を最優秀提案者とする。
なお、最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2人以上あるときは、技術点が高い者を最優秀提案者とする。
- (4) 最優秀提案者と契約締結に至らなかった場合は、最低基準点以上の点数を得たもののうち、次順位の者を新たな最優秀提案者として手続を行う。

【概要】「日本磁器産業発祥の地・ARITA 文化資源の記録化・ストーリー化事業」（佐賀県・有田町連携事業）

審査基準

審査基準		配点	
事業目的との適合性	【事業目的の理解】 本事業の目的・背景を十分に理解した上で、文化資源の魅力がより深く伝わり、地域内の回遊性向上につながる内容として提案されているか。	20	35
	【データの利活用・継続運用性】 アーカイブデータは汎用性が高く、継続的な追加及び運用しやすい形式となっているか。また、デジタル閲覧基盤における利用者データの取得・分析方法が適切であり、その結果をアーカイブ内容や周遊体験の改善に反映し、継続的な見直し・改善(PDCA)が可能な仕組みとなっているか。	15	
体験価値・利用者志向	《アーカイブ》		40
	【利用者体験の内容】※技術点 アーカイブの分類や構成は、来訪者にとってわかりやすくストーリー化されていて、かつ興味を引くものとなっているか。	10	
	【映像制作の構成】※技術点 選定した文化資源に訴求力があり、かつ継続的に多用途でも活用しやすい内容となっているか。	10	
	《デジタル閲覧基盤(Web アプリケーション)》		
	【体験設計の工夫】 利用者が有田を中心に巡りたくなる導線や独自性が感じられ、デジタルならではの体験価値向上が期待できる内容となっているか。また、一過性の利用に留まらず、有田町を訪れる来訪者が、長期にわたり自然に利用し続けられる仕組みが設計されているか。	10	
	【興味・理解の深化】 旅マエ・旅ナカ・旅アトを通じて、観光客の興味・関心や文化資源への理解を深める補助コンテンツとして効果的に利用できる内容となっているか。	10	
実現性	【業務の実現性】 提案内容がスケジュール・体制の面で現実的に実施可能か。	10	10
経費の妥当性・継続性	【経費の妥当性】 本事業に真に必要な機能が適切に搭載され、費用対効果の考え方が妥当か。継続的に運用できる仕組み(ランニングコストが適切な水準に抑えられているか、専門知識、作業工数を過度に要さない運用)として整理されているか。	15	15
100点			

※評価点の最低基準点は満点の6割とし、これに満たない者は選定の対象外とする。

※申請者の不備により記載内容が確認できない場合は、該当する評価項目を0点として取り扱う。

※最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2人以上あるときは、技術点が高い者を最優秀提案者とする。

【概要】「日本磁器産業発祥の地・ARITA 文化資源の記録化・ストーリー化事業」（佐賀県・有田町連携事業）

九州陶磁文化館におけるコンシェルジュ機能整備とWebアプリの連携について

現在、九州陶磁文化館のデスティネーション化・文化観光拠点化に向けたプロポーザルを実施しており、令和8年度には基本計画・設計とあわせて、エントランスロビーへコンシェルジュ(観光案内)機能を整備予定。

(プロポーザル: <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003119701/index.html>)

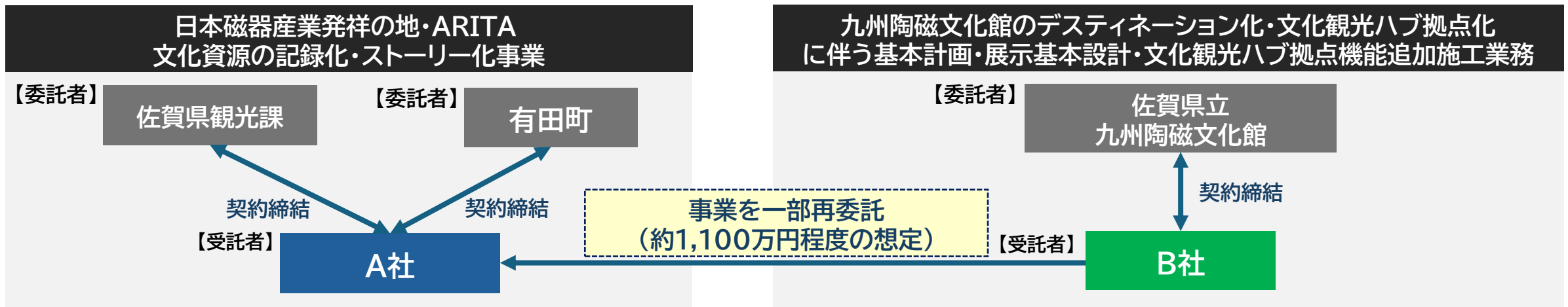
コンシェルジュ機能の一つとして、タッチ操作が可能なデジタルサイネージを設置し、本事業で構築する来訪者向け周遊Webアプリを表示・操作できる環境を整備する予定。

本事業予算における来訪者周遊Webアプリは『実証実験レベル』で構築するが、施設整備と連動させることを前提に、九州陶磁文化館の改修予算の一部を活用し、令和8年度中に『本格運用レベル』まで拡張することを想定している。

連携のイメージ

本事業の受託者A社と九陶改修事業の受託者B社が連携し、B社からA社へ改修事業の一部業務を再委託する想定であり、再委託内容は、下記の2点を想定。(想定額: **約1,100万円程度**(デジタルサイネージ自体の機器設置費用は除く))

- ・ 本事業で構築するWebアプリを九州陶磁文化館のエントランスロビーに設置するデジタルサイネージに実装すること
- ・ Webアプリのレベルを本格運用レベルまで機能拡張すること



【概要】「日本磁器産業発祥の地・ARITA 文化資源の記録化・ストーリー化事業」（佐賀県・有田町連携事業）

留意事項

- ✓ 本事業については、文化庁補助事業「令和8年度本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業(ACEプログラム)」に係る **交付決定を前提として実施するもの**であり、当該業務における **文化庁からの交付決定がなされない場合は中止**します。また、交付決定により一部内容に変更があった場合は、**当該業務の一部を変更、又は中止する場合があります**。
- ✓ 見積額の積算に当たっては、地域コーディネーター及び有識者との連携に要する謝金について、時間単価5,200円を基準として算定すること。なお、稼働時間は、提案内容に応じて各事業者において適切に見込むこと。

(参考)事業の流れ

